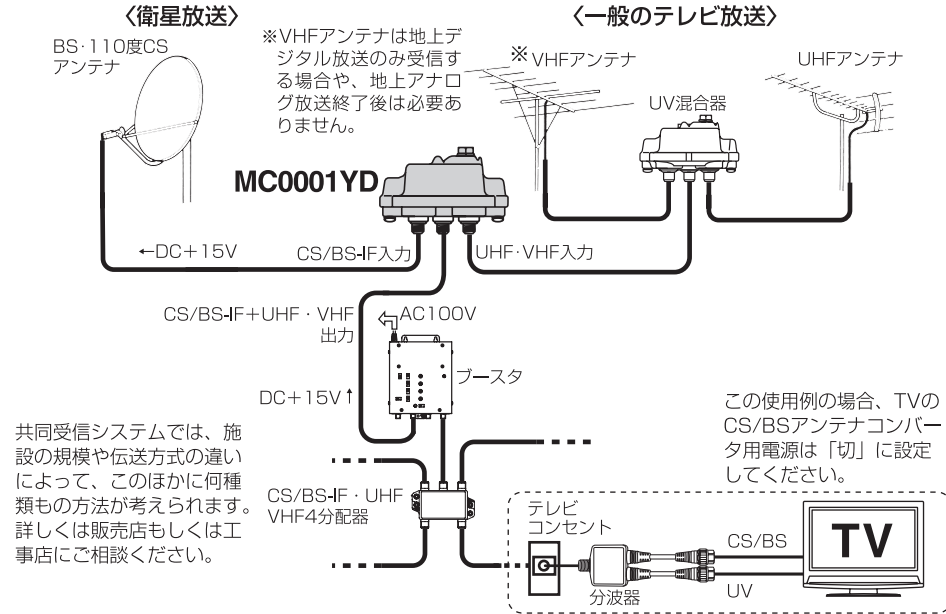


## 使用例

■混合器として使用する場合（分波器として使用する場合は入出力端子を逆に接続します。）



この製品を分波器として使用すると、CS/BS-IF+UHF・VHF電波をCS/BS-IF出力と、UHF・VHF出力に分けることができます。

## 規格特性

使用周波数帯域 (MHz)	インピーダンス(Ω) IN(OUT) OUT(IN)	VSWR (以下)	通過帯域損失 (dB以下)	阻止帯域減衰量 (dB以上)
10~222	75 (C15) 75 (C15)	1.6	1.0	20
222~770		1.6	1.3	20
1032~1489		2.0	1.7	20
1489~2150		2.5	2.5	18
2150~2610		2.5	3.0	18

※CS/BS入力・出力端子間通電 (DC15V、0.8A以下または、AC30V、1A以下)。

※質量：0.17kg

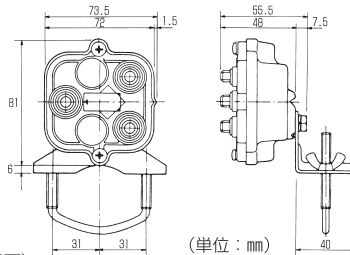
規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

※この製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

## 外形寸法図



## 取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



## DIGITAL

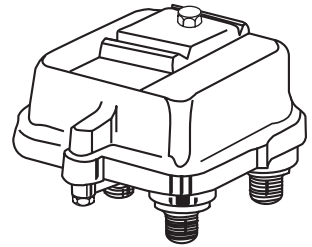
## CS/BS-IF・UHF・VHF/FM-HF混合・分波器

屋外用CS/BS-IF [1032~2610MHz]とUHF/HF [10~770MHz]との混合分波用

## MC0001YD

### 製品の特長

- CS/BS帯域とUHF・VHF・HF帯域とを混合または分波します。
- 10~2610MHzの広帯域にわたりフラットな周波数特性です。
- 小形のアルミダイカスト製ケースで耐久性に優れています。
- CS/BS入力・出力端子間 (DC15V、0.8A以下または、AC30V、1A以下) 通電仕様です



### 安全上のご注意



△記号は注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は警告または注意) が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。



### 警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この製品を煙突の付近など高温になる場所で使用しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり (熱器具に近づけたり) 引っぱったりしないでください。火災、感電の原因となります。



## DXアンテナ株式会社

(2010年9月現在)

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区兵衛町2番15号 TEL. (078) 682-0001 (代) 東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永19番地 秋葉原ビルディング8F TEL. (03) 3526-6327 (代)

- 同軸ケーブルなどが傷んだとき（心線の露出、断線など）は、お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品に接続している電気製品などの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにこの製品に接続している電気製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- 雷が鳴り出したら、この製品に触れないでください。感電の原因となります。



#### 《販売店・工事店様の安全上のご注意 — お客様もお読みください》

**警告** この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この製品を煙突の付近など高温になる場所に設置しないでください。燃えたりして、火災や故障の原因となります。



- 不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、途中には通電形機器以外は挿入しないでください。回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。また、通電形機器を挿入する場合は、通電端子をよく確かめてお使いください。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、電流が流れることがありますので、同軸ケーブルの接続などで、心線と編組が接触しないようにしてください。火災や感電の原因となります。



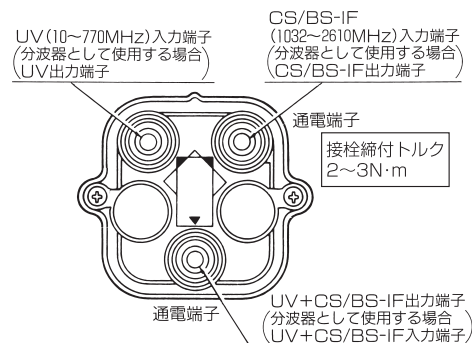
- 取り付けネジや、ボルトや接栓は、指定している力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



#### お取扱いの前に

- 取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行ってください。
- この製品は通電形で、ブースタやCS/BSアンテナなどを動作させるための電流を流すことができますが、必ず決められた電流容量内でご使用ください。
- 電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後に行ってください。
- 使用時異常が生じた場合は、ただちに電源の供給を止め、原因を確かめてください。

#### 各部の名称

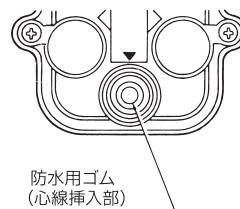


#### ● 付属品

取付金具……………1個	スプリングワッシャー…2個
Uボルト……………1個	防水キャップ…3個
蝶ナット……………2個	木ネジ……………2本

#### 防水処理方法

##### (バージン方式防水機構)



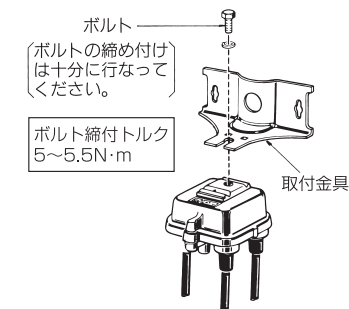
- 心線挿入部の黒い防水用ゴムは絶対に取らないでください。（防水用ゴムを取りますと、防水効果は薄れます。）
- 接栓を接続する際、防水用ゴムの中央に直接心線部を突き刺して接続してください。防水用ゴムが心線部に密着し、入水を防ぎます。
- 付属の防水キャップは接栓座の根元まで差し込み、ビニルテープで完全に防水を行なってください。

#### 使用上のご注意

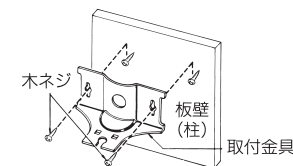
- CS/BS-IF (1032~2610MHz) とUHF帯とVHF帯ではケーブル・ユニットの損失がそれぞれ異なりますから、入力信号レベルに特にご注意ください。
- 通電できる容量はDC15V・0.8A以下、または、AC30V・1A以下です。必ずこの電流容量以下でご使用ください。
- CS/BS-IF帯の電波を効率よく伝送するため、同軸ケーブルは高品質のS-5C-FBなどのご使用をおすすめします。
- 各端子にケーブルを接続するときは、ケーブルに適したF形接栓（別売）で、屋外ではC15形防水形接栓、屋内ではC15形接栓をご使用ください。（S-5C-FBの屋外用はF-5SCN接栓、屋内用はF-5SN接栓）

#### 取付方法

##### 本体への金具の取付

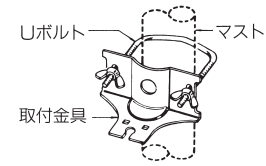


##### 板壁への取付け



- 図のように取付金具を木ネジで固定し、ユニットを取り付けてください。

##### マストへの取付け



適合アンテナマスト径：16~56mm

- 取付金具を図のようにUボルトで取り付け、ユニットを取り付けてください。
- 56mmを超えるマストに取り付ける場合は、市販のステンレスバンド（10mm幅）が使用できます。